

## ツキノワグマを知ろう！

ツキノワグマは、長野県の全域に生息しています。最近では、人とクマとの距離が近くなったことで、クマにおそわれてケガをする人の数が以前より少しずつ増えています。講座では、当研究会の専門家が、調査研究から分かったクマの生態やなぜ人里に近づくのか、出会わないため、出会った時に知っておきたいことなど、安全に暮らすために必要な知識をクイズも交えながら、わかりやすく解説します。



体育館で学年別の授業の様子  
(班ごとに毛皮を囲みます)



クラスごとの授業の様子  
(班ごとに毛皮を囲みます)



本物の毛皮や頭骨に触れ、体  
について学びます



クマの糞や胃の内容物か  
ら出てきた種や虫



クマの食べ物の観察タイム  
では興味津々

講座では、当研究会が作成したハンドブックを配布します。当会が制作した紙芝居上演やかるた遊びもできますので、お気軽にご相談ください。



小学生向け



一般向け



紙芝居「信州版森の子クマの子」



信州版ツキノワグマかるた



1995年に上高地のホテルの生ごみに餌付いた2頭のクマを捕獲・放獣・調査をしたことをきっかけに発足し、2004年よりNPO法人として活動しています。発足以来、科学的根拠に基づいた被害対策の推進と正しい知識の普及に努め、調査研究、被害対策および普及啓発を行っています。現在の会員数は、一般市民、研究者や狩猟者など約120名。  
問合せ先：kumaken\_shinshu@yahoo.co.jp（担当：瀧井・浜口）